

Positive approach Positive approach Positive approach

対話によるポジティブ・アプローチ

Positive approach Positive approach Positive approach

■ わらい

問題の原因を分析・追及するギャップ・アプローチだけではなく、未来に向けた目標の達成に焦点をあてたポジティブ・アプローチを学ぶ。また、様々な利害関係者と新しい関係性を創り出し、未来志向の対話を通して課題解決に導く手法を身につける。

■ 対 象

係長級以下の職員

【特にお勧めする方】

主任の職員

■ 定 員

各回27名～30名×8回

■ 日 程

第1回 6月10日(木)・11日(金)

第2回 7月6日(火)・7日(水)

第3回 8月23日(月)・24日(火)

第4回 10月28日(木)・29日(金)

第5回 11月29日(月)・30日(火)

第6回 12月16日(木)・17日(金)

第7回 1月13日(木)・14日(金)

第8回 2月15日(火)・16日(水)

【9:00～17:00】

■ 講 師

民間研修機関講師

■ 場 所

特別区職員研修所

(千代田区神田相生町1番地

秋葉原センタープレイスビル4・5・6階)

■ 問合せ先

特別区職員研修所 教務課 基本研修係

03-5298-3930～6



■ カリキュラム（予定）

	項目	内容
1 日目	ポジティブ・アプローチとは	・ポジティブ・アプローチに取り組む
	課題設定の方法	・問題と課題を意識しながら、課題を設定する
	対話による発想	・議論と対話の違いを理解し、未来志向で考える重要性を学ぶ
	対話による問題解決	・対話の場で使われる様々な手法を学ぶ
2 日目	ファシリテーションとは	・ファシリテーションとは何かを学び、効果的に対話の場を進行するスキルを身につける
	議論と対話の見える化と合意形成	・対立を乗り越える合意形成の重要性を学ぶ
	未来を創造する戦略型問題解決	・問題解決の一連のプロセスを演習で実践する
	問題解決の方法	・アイデア具体化の方法を習得する

※ カリキュラムの一部が変更になる場合があります。

■ ポイント&特徴



組織変革や職場における問題解決アプローチは、あらかじめ設定された基準と現状とのギャップに焦点をあて、それを問題として特定し修正や改善を図るギャップ・アプローチをとることが広く行われています。

本研修では、問題そのものに焦点をあてず、未来に目を向けることでいったん現状から離れ、未来を考えるポジティブ・アプローチを学びます。

未来に向けて、ありたい姿を思い描き、そこに至る方法を考えていくことで、「できない理由」から脱却し、どうやったら実現できるかという「できる方法」を考え、委縮しがちな思考を改善します。